



ひろしま遊学の森 広島県緑化センターメールマガジン VOL.363 H30.6.22



夏至を迎え暑くなってきましたが、谷浴いでは心地よい涼風が吹き、散策しやすい季節です。今朝はこの時季には珍しく雲海（写真3上）が発生していました。

★見どころ情報

ムラサキシキブ（紫式部）シソ科ムラサキシキブ属（写真1左）

やや明るい山林内や林縁に自生する落葉低木で、紫色の果実を平安時代の女性作家、紫式部に例えて名づけられたといわれています。葉は単葉で対生し、両面無毛で触るとざらつくのが特徴です。葉の大小や鋸歯に変異が多いですが、類似種のヤブムラサキやコムラサキの葉の表は軟毛が密生し、触るとふわふわするので識別が容易です。6～8月に淡紅紫色を帯びた長さ3～5mmの花を多数咲かせます。庭木などでムラサキシキブの名で植えられているものの多くはコムラサキです。

場所：さくら通り他

サンゴジュ（珊瑚樹）レンブクソウ科ガマズミ属（写真1右）

関東南部以西の沿海地の谷筋に自生が多い常緑高木で、高さ10m以上になります。光沢のある葉は対生し、肉厚で大型なので見分けは比較的容易です。6月、枝先に花序をだし、径5mm程度の小さな花をたくさんつけます。赤い果実と果序をサンゴに見立てて名づけられました。庭木や街路樹、防風林などに用いられます。

場所：多目的広場

オカトラノオ（丘虎の尾）サクラソウ科オカトラノオ属（写真2左）

丘陵地などに生え、垂れ下がる花序を虎のしっぽに見立てて名づけられました。茎の先端に長さ10～30cmの花序をだし、花は下から先端に向けて咲き上がります。同じ仲間に草地に生えるノジ（野路）トラノオや湿地に生えるヌマ（沼）トラノオがあります。

場所：浄水場

この他、広島市の花に指定されているキョウチクトウ（写真2右）も咲きはじめました。インド原産の常緑樹で、原爆により75年間草木も生えないといわれた広島島の焦土にいち早く咲いた花です。

花以外にも、アオスジアゲハ（写真3）やセマダラコガネ（写真3）他、昆虫類もたくさん見られます。

★見頃状況まとめ

咲き始め	サンゴジュ（写真）、キョウチクトウ（写真）カシワバアジサイ、アジサイ、ムクロジ 他
見頃	ムラサキシキブ（写真）、ナンテン、クマノミズキ、タチバナモドキ、ナツツバキ、キンシバイ、ヤマアジサイ品種、キョウソウ、ホタルブクロ、ツチアケビ 他

園内の見どころ情報はツイッター及びインスタグラムでも確認できます。
メールマガジンよりも早くお知らせできることが多いのでぜひ下記 URL からご覧ください。
ツイッターアカウント名： @Ryokkacenter <https://twitter.com/ryokkacenter>
インスタグラムアカウント名： kanriryokka <https://www.instagram.com/kanriryokka/>
フォローよろしくお願ひします。



写真1左 ムラサキシキブ（さくら通り） H30.6.21



写真1右 サンゴジュ（県木の森向かい） H30.6.21



写真2左 オカトラノオ（浄水場） H30.6.21



写真2右 キョウチクトウ（見本園入口） H30.6.21



写真3上 雲海 H30.6.22 8:30



写真3左下 アオスジアゲハ (きのこの森) H30.6.21



写真3右下 セマダラコガネ H30.6.15